

オリンピック・パラリンピック・ニュース No.6

江原小学校 オリンピック・パラリンピック教育担当

みなさんも投票して決定された、東京オリンピック・パラリンピック大会の公式マスコットの名前が夏休み中に決まりました。そこで今回はマスコットについての特集です。

1 マスコットの名前は？



ミライトワ
MIRAITOWA

© Tokyo 2020



ソメイティ
SOMEITY

オリンピックマスコットが「ミライトワ」、パラリンピックマスコットが「ソメイティ」です。

「ミライトワ」は「未来」と「永遠（とわ）」の2つの言葉から、「ソメイティ」は桜の代表的品種である「ソメイヨシノ」と、力強いという意味の「so mighty」という言葉からそれぞれ名付けられたとのことです。

2 マスコットはどんなことをするの？

東京オリンピック組織委員会のホームページには、「マスコットは大会の精神を伝え、史上最大の祭典に輝きを添える存在です。開会式や閉会式で、競技中にも、街中でも。選ばれたマスコットが歴史に残る活躍をします。」と書かれています。

これから東京オリンピックに向けて、大活躍しそうですね。

3 オリンピックのマスコットはいつからいるの？

オリンピックにマスコットが誕生したのは、1968年にフランスで行われたグルノーブル冬季大会からです。夏のオリンピックでは、1972年のミュンヘン大会が最初です。

パラリンピックのマスコットの誕生は、1980年にオランダで行われたアーネム夏季大会からです。



グルノーブル大会



ミュンヘン大会



アーネム大会

どちらのマスコットも、これからいろいろなところで目にしそうですね。2年後のオリンピックに向けて、盛り上げていけるといいですね。

<参考文献・ホームページ>

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会のホームページ、

ウィキペディア